



勲七等瑞宝章

古川一郎さん(栗山)

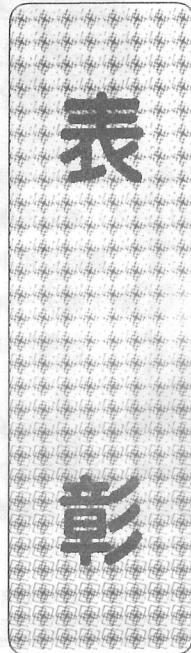
「昭和二十二年から三十一年間、ただ自分なりの仕事をしてきたつもりです。このような表彰を受けて、大変うれしく思っています」と受章の喜びを語る古川さん。同氏は、昭和五十三年に八日市場の拘留支所(副看守長)を退職され、長年の功績が、今回認められたものです。



勲六等瑞宝章

小島清さん(栗山)

「私の仕事は、少年たちとの心と心のふれあいや、つながりが大切ですね」と語る小島さん。同氏は、少年の矯正を専門職として、四十年以上にわたり貢献され、昨年三月に八街の少年院を退職、今回、その功績が広く認められて、勲六等瑞宝章を受章されました。



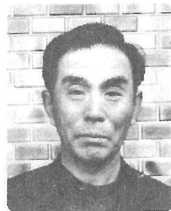
県社協会長から表彰

11月6日、県文化会館で、第30回千葉県社会福祉大会が行われました。

大会の席上、子安左一さん(於幾)、土屋シナさん(東町)、後藤幾久さん(栗山)の3人の方が、県社会福祉協議会長から表彰されました。

子安左一さん(於幾)

子安さんは、長年に亘り、民生、児童委員として生活困窮者の保護、指導に当り、奉仕の精神をもって、常に地域住民の福祉の増進に寄与しているもので、その功績に対して表彰されました。



土屋シナさん(東町)

土屋さんは、地域住民の福祉向上のために奉仕すると共に、民生委員の中にあつては、婦人部長として他の模範となり、同僚や後輩の指導、助言に当たられ、長年の功績が認められました。



後藤幾久さん(栗山)

後藤さんは、母子家庭の良き相談相手となり、また、民生児童委員として婦人の立場を大いに生かし、生活困窮者等の福利厚生を図るなど広範にわたり尽力、その功績が認められたものです。



無料整髪奉仕に

厚生大臣から表彰

海保能夫さん(道貫)

十一月十四日、昭和五十五年度の全国社会福祉大会が、東京の日比谷公会堂で行われ、席上、社会福祉事業奉仕功労者として、海保能夫さん(道貫)が、厚生大臣から表彰されました。海保さんは、店の休日を利用して、月に一回、奥さんの和子さんと共に養護老人ホーム(坂田)を

訪れ、お年寄りたちに、無料整髪を行っていました。二十年以上にわたる海保さんの整髪奉仕に、ホームのお年寄りたちは「毎月、海保さんがきてくれるのが楽しみで……」と話していました。また、海保さんは「私は、月一回、店の休日を利用して行っているだけです。厚生大臣から表彰されるなんて……。家内の協力がなければできませんでした。私の手が動く限り続けたいです」と受章の感激と、これからの抱負を語ってくれました。